



ユーザーガイド

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新のユーザーガイドについては、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

初版：2017 年 10 月

製品番号：L01390-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、および技術仕様について説明します。

-
- ⚠ **警告** : 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
 - ⚠ **注意** : 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある**危険な状況を示します。
 - 📌 **重要** : 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 - 📖 **注記** : 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 - 💡 **ヒント** : タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

目次

1 お使いになる前に	1
安全に関する重要な情報	1
製品の特長および各部	1
特長	1
背面の各部	2
モニターの設定	3
ケーブルの接続	3
モニターの調整	4
モニターの電源投入	5
モニター スタンドの取り外し	6
モニター本体の取り付け	7
モニター スタンドの取り付け	9
2 モニターの使用	10
ソフトウェアおよびユーティリティ	10
タッチ スクリーン用ドライバー	10
情報ファイル	10
Image Color Matching ファイル	10
INF および ICM ファイルのインストール	11
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用	11
自動スリープモードの使用	12
3 サポートおよびトラブルシューティング	13
一般的なトラブルの解決方法	13
ボタンのロックアウト	14
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	14
お問い合わせになる前に	14
シリアル番号と製品番号の位置	14
4 モニターの保守	15
保守に関するガイドライン	15
モニターの清掃	15
モニターの運搬	16

付録 A 技術仕様	17
10.1 インチ（対角長 25.7 cm）モデル	17
プリセットディスプレイ解像度	18
10.1 インチ（対角長 25.7 cm）モデル	18
ユーザー モードの使用	18
省電力機能	19
付録 B ユーザー サポート	20
サポートされている支援技術	20
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	20

1 お使いになる前に

安全に関する重要な情報

⚠ **警告！** 安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

📄 **重要：** モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ **警告！** 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

- LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置します。電源コードを電源コンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。

製品の特長および各部

特長

このモニターの特長は以下のとおりです。

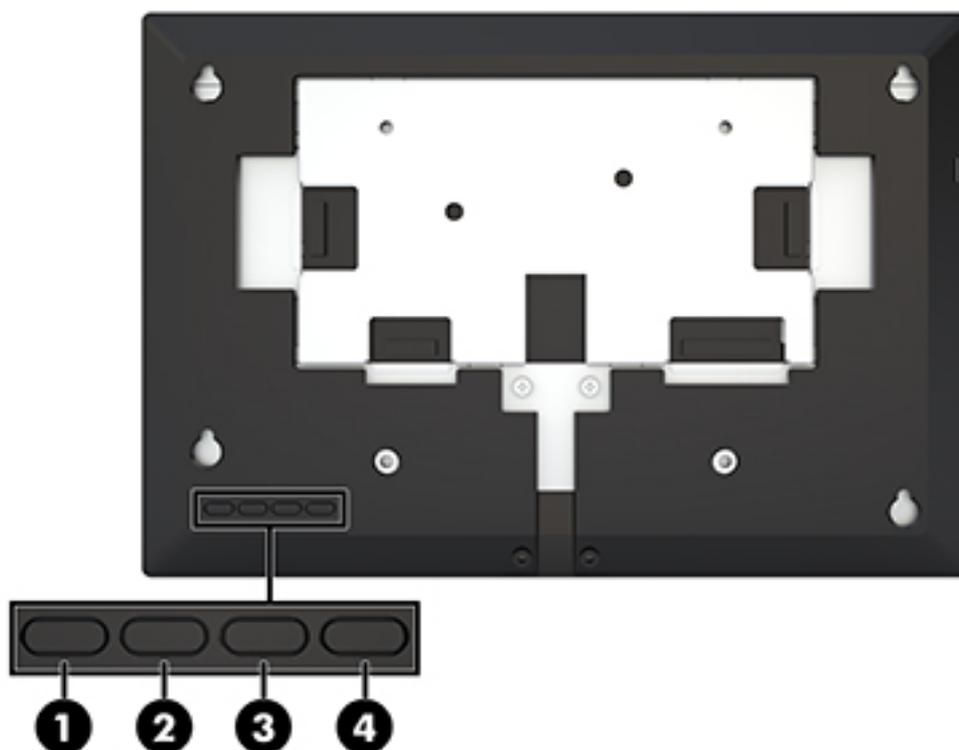
- 1280×800 以下の解像度をサポートする、10.1 インチ（対角長 25.7 cm）の表示画面領域
- LED バックライト付きノングレア パネル
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度調整機能
- ディスプレイ本体を固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニター スタンド

- VESA マウント規格に対応
- DisplayPort 1.2 に対応し、最大 15 W (5 V/3 A) の電源を供給する USB-C ポート
- プラグアンドプレイ機能（お使いのオペレーティングシステムでサポートされる場合）
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

 **注記：**安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

背面の各部

 **注記：**メニュー ボタンにアクセスするには、背面カバーおよびスタンドを取り外す必要があります。手順については、[6 ページのモニタースタンドの取り外し](#)を参照してください。



名称	説明
(1) 輝度ボタン	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期設定は 90 です
(2) カラー コントロール ボタン	画面の色を選択および調整します
(3) ディスプレイ情報ボタン	モニターに関する重要な情報を選択および表示します
(4) メニュー ボタン	ボタンを押すと、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりできます

モニターの設置

ケーブルの接続

モニターは、USB-C フラットケーブルが取り付けられた状態で出荷されます。モニターを使用するには、信号および電源を供給する入力デバイスにそのケーブルを接続します。



モニターの調整

ディスプレイ本体を前または後ろ（15°～90°）に傾けて、見やすい位置に設定します。



モニターの電源投入

1. 入力デバイスの電源ボタンを押して、入力デバイスの電源を入れます。
2. モニターの電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



重要：モニターを使用しない状態が12時間以上経過して、同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべてのLCD画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HPの保証の対象外です。

注記：電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを10秒程度押し続けます。

注記：電源ランプはオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで無効にできます。メニューボタンを押してOSDを表示し、【電力コントロール】を選択します。【電源ランプ】→【オフ】の順に選択します。

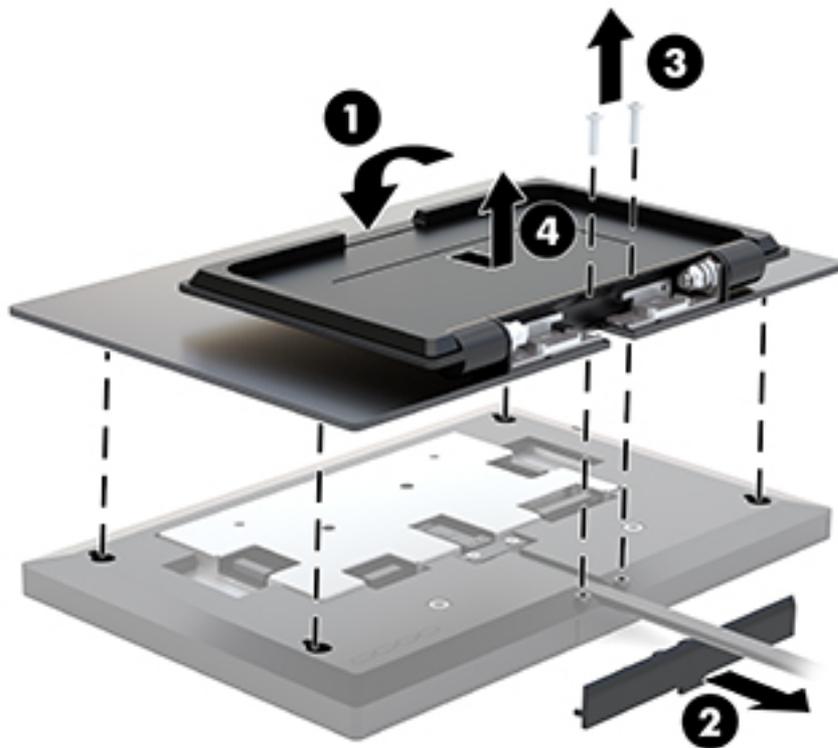
モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

モニター スタンドの取り外し

オンスクリーンディスプレイ (OSD) ボタンにアクセスして、モニターのメニュー設定を調整するには、モニターの背面カバーおよびスタンドを取り外す必要があります。また、モニターの背面カバーおよびスタンドを取り外して、モニター本体を壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具を取り付けたりすることができます (VESA 準拠のマウントプレートは付属していません)。

 **重要：** モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターの前面を下向きにして、柔らかい清潔な布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. スタンドがモニターの背面にぴったりとつくように折りたたまれていること (1) を確認します。
3. USB-C ケーブルの下にあるカバーを取り外します (2)。
4. 2本のネジを取り外します (3)。
5. モニターの背面カバーを後方にスライドさせて持ち上げ (4)、カバーおよびスタンドをモニターパネルから取り外します。



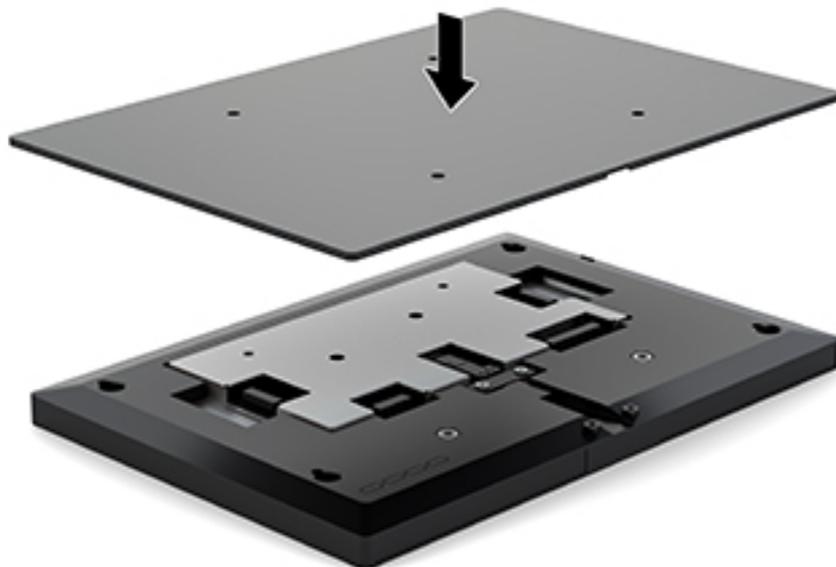
モニター本体の取り付け

モニター本体は、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます（別売の VESA 準拠のマウントキットが必要です）。

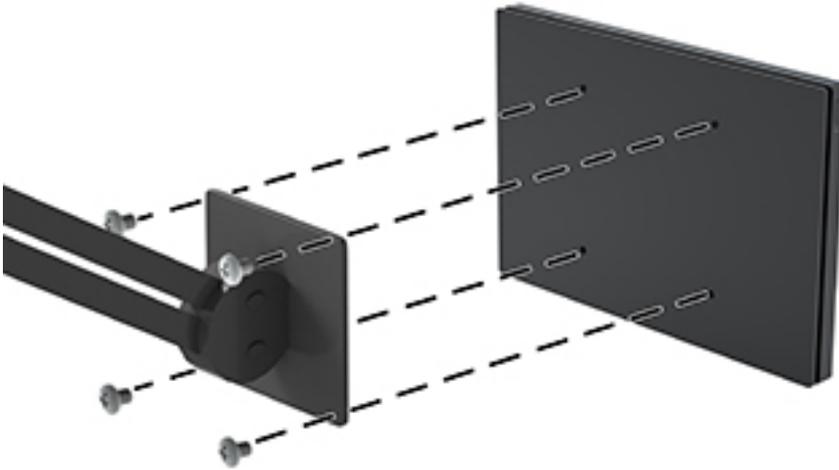
 **注記：** この装置は、UL または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

 **重要：** VESA 準拠のマウントキットは、VESA 準拠の 10 cm 間隔の取り付け穴をサポートします。VESA 準拠のマウントキットに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチ、長さ 10 mm のネジを 4 本使用してください。これより長いネジは、モニターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。

1. モニターの背面カバーおよびスタンドがモニター本体に取り付けられている場合は、背面カバーおよびスタンドを取り外します。手順については、[6 ページのモニタースタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. 別売の VESA 準拠のマウントキットに含まれている背面カバーをモニターパネルに取り付けます。



3. モニター本体をスイングアームまたはその他の取り付け器具に取り付けるには、4本の取り付けネジを、取り付け器具にある穴に通してから、モニターカバーの背面にある VESA 準拠のネジ穴に差し込みます。

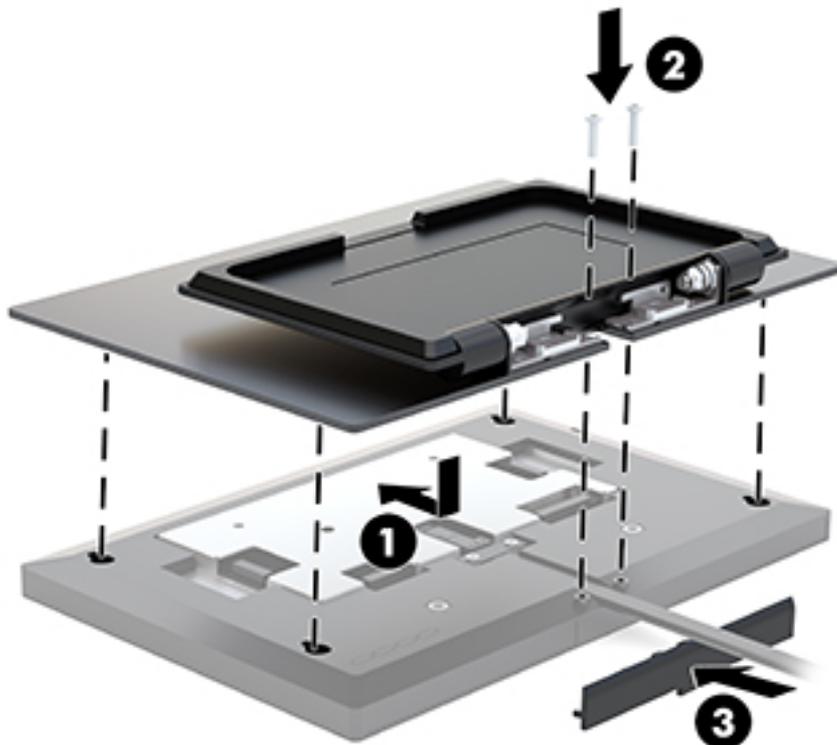


 **重要**：モニターを壁面またはスイングアームに取り付けるときは、取り付け器具の製造元の説明書に沿って作業をしてください。

モニター スタンドの取り付け

オンスクリーンディスプレイ (OSD) ボタンにアクセスしたり、モニター本体をスイングアームに取り付けたりするためにモニター スタンドを取り外したあと、再びモニター スタンドを取り付け直す場合は以下のように行います。

1. モニターの前面を下向きにして、柔らかい清潔な布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. モニター カバーをモニター本体の上に置き、前方にスライドさせます (1)。
3. 2本のネジを取り付けます (2)。
4. USB-C ケーブルの下にカバーを取り付けます (3)。



2 モニターの使用

ソフトウェアおよびユーティリティ

HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> から次のファイルをダウンロードして、お使いのコンピューターにインストールできます。

- INF (情報) ファイル
- ICM (Image Color Matching) ファイル (調整済みの色空間ごとに 1 つ)
- 「タッチ操作でビープ音を鳴らす」機能を有効にする HP のタッチ スクリーン用ドライバー (タッチ対応モデルのみ)

タッチ スクリーン用ドライバー

10.1 インチ (対角長 25.7 cm) のタッチ モニターでは、Windows® 7、8.1、および 10 に組み込まれているドライバーがプラグ アンド プレイ機能によってインストールされます。これらの Windows ドライバーでは、「タッチ操作でビープ音を鳴らす」機能を有効にできません。

タッチ モニターの「タッチ操作でビープ音を鳴らす」機能を有効にするには、HP のタッチ スクリーン用ドライバーをインストールする必要があります。このドライバーは、HP のサポート Web サイトからダウンロードできます。タッチ スクリーン用ドライバーをダウンロードするには、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿ってドライバーをダウンロードします。

情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Windows プラグ アンド プレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグ アンド プレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグ アンド プレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータ ファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記** : ICM のカラー プロファイルは、ICC (International Color Consortium) のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

INF および ICM ファイルのインストール

1. HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. [ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
3. 画面の説明に沿ってお使いのモニターを選択し、ソフトウェアをダウンロードします。

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じて画面表示を調整します。モニターの背面にあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. OSD ボタンにアクセスするには、モニターの背面カバーおよびスタンドを取り外します。手順については、[6 ページのモニタースタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
3. OSD メニューを開くには、モニターの背面にあるメニュー ボタンを押します。
4. OSD メニュー内を移動するには、モニターの背面にある +（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、-（マイナス）ボタンを押して下にスクロールします。
5. OSD メニューから項目を選択するには、+ ボタンか - ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、メニュー ボタンを押して機能を選択します。
6. + ボタンまたは - ボタンを押してスケールを調整します。
7. 機能を調整したら、[OK]を選択して設定を保存し、メインメニューから[Exit]（終了）を選択します。

メインメニュー	説明
輝度	画面の輝度を調整します
コントラスト	画面のコントラストを調整します
カラーコントロール	画面の色を選択および調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号を調整します
イメージコントロール	画像を調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD の設定項目を調整します
管理	DDC/CI サポートを有効または無効にして、すべての OSD メニュー設定を初期設定に戻します
言語	OSD メニューを表示する言語を選択します
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

自動スリープモードの使用

このモニターは、自動スリープモードを設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合 (初期設定では有効)、ホストコンピュータから低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態 (スリープモード) になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。ホストデバイスからアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードは OSD メニューで無効にできます。メニュー ボタンを押して OSD を表示し、【電力コントロール】→【自動スリープモード】→【オフ】の順に選択します。

3 サポートおよびトラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	USB ビデオ ケーブルが接続さ れていない	ビデオ ケーブルを入力デバイスおよびモニターに 接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコ ンピューターの電源がオフになっていることを確 認してください。詳しくは、 3 ページのケーブルの 接続 を参照してください
	システムがスリープ モードに なっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動か して、スリープ モードを終了します
	ビデオ カードに互換性がない	ビデオ カードを交換するか、コンピューターに搭 載されているビデオ ソースにビデオ ケーブルを接 続します
画像が暗すぎる	輝度設定が低すぎる	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開 いて【輝度】を選択し、必要に応じて輝度スケールを 調整します
【Input Signal Not Found】 というメッセージが画 面に表示される	モニターのビデオ ケーブルが 外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモ ニターを接続します。ビデオ ケーブルを接続する ときにコンピューターの電源がオフになっている ことを確認してください
【Input Signal Out Of Range】というメッセー ジが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュ レートが、モニターがサポート するレベルを超えるレベルに 設定されている	設定値をサポートされている値に変更します。詳 しくは 18 ページのプリセットディスプレイ解像 度 を参照してください
モニターの電源は切れ るが、省電力スリープ モードには移行してい ないように見える	モニターのスリープ モードが 無効になっている	OSD メニューを開き、【電力コントロール】→【自動ス リープモード】の順に選択して、自動スリープを【オ ン】に設定します
【OSD Lockout】と画面に 表示される	モニターの OSD ロックアウト 機能が有効になっている	メニュー ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD の ロックを解除します
【Power Button Lockout】 と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロッ クアウト機能が有効になって いる	電源 ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンの ロックアウト機能を無効にします

ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートも利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のよう な情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、ディスプレイ本体の底面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。



4 モニターの保守

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流 (AMPS または A) は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：** モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気の良い場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにしてください。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切り、入力デバイスからモニターを取り外します。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。

 **重要：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

重要： ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります

この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニターモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

10.1 インチ（対角長 25.7 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	10.1 インチ (25.7 cm)
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	25.7 cm/10.1 インチ （対角方向）
最大質量（非梱包時）	1.5 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	17.0 cm
奥行き	3.5 cm
幅	24.6 cm
最大グラフィックス解像度	1280×800 (60 Hz)
最適グラフィックス解像度	1280×800 (60 Hz)
環境条件 動作保証温度	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	- 20 ~ 60°C
動作時湿度	20 ~ 80%の相対湿度（結露なし）
非動作時湿度	5 ~ 95%の相対湿度（結露なし）
電源	USB-C 5 V/3 A（IEC60950-1:2005 で定められている SELV および LPS に準拠するホストデバイスから供給）
入力端子	DisplayPort 1.2 に対応し、最大 15 W の電源を供給する USB-C ポート

プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

10.1 インチ（対角長 25.7 cm）モデル

プリセットディスプレイ解像度

640×480 (60 Hz)

800×600 (60 Hz)

1024×768 (60 Hz)

1280×720 (60 Hz)

1280×800 (60 Hz)

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット
1	480p	720×480
2	720p60	1280×720
3	720p50	1280×720
4	576p	720×576

ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、10 以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は 0.5 W です。短時間のウォーム アップ後に通常の動作モードに戻ります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、省電力機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターの省電力 ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの省電力 ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせるようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品の特定の支援技術製品について詳しくは HP のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。